

第8回山陽小野田市地域公共交通会議
会 議 録

協議事項

議案1 地域公共交通網形成計画 骨子案について

| 発言者 | 発言要旨 |
|---------|--|
| 事務局より説明 | |
| 会 長 | 質問・意見等あればお願いしたい。 |
| 委 員 | 37ページについて、系統別の収益率が高いものは70%近くから低いもので1桁のものまでであるが、収益率の理想はいくつであるのか。 |
| 事務局 | 理想値となると難しいが、収益率が100%で採算が±0ということである。 |
| 委 員 | そうなる、全ての路線でマイナスであるという認識でよいか。 |
| 事務局 | そのとおりである。山陽小野田市において、黒字路線はない。 |
| 委 員 | 乗者密度の最低限の理想値はどのくらいか。 |
| 事務局 | 他市の状況等を勘案すると、平均乗者密度が1を下回るようであると、改善の必要があるとされることが多い。そこが一つの基準になると思う。乗者密度1というのは、起点から終点まで1人乗っているということである。本市の場合は1を割る路線もあるので改善が必要であると考えている。 |
| 委 員 | 表を見ると、最高の5前後でも、収益率はマイナスであるので、10～20を狙っていかなければ、バス運営は成り立たないということでしょうかね。 |
| 委 員 | 54ページのコンパクトの意味合いが曖昧である。「分散したコンパクト市街地」と「コンパクトのまちづくり」がわかりにくい。それぞれの「コンパクト」の意味合いは違うものであると思うが、表現が誤解を招く可能性があるので、日本語にするなど表現方法をかえたほうが良い。 |
| 事務局 | 修正する。 |
| 委 員 | 61ページの基本方針2「利用しやすい地域公共交通」を「わかりやすく利用しやすい地域公共交通」に統一したほうが良い。 |
| 事務局 | 表現を統一したい。 |
| 委 員 | 60ページの「バスと鉄道の乗り継ぎ」について、目標値を減らないような設定にするのか。 |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | 現状より高い目標とする。 |
| 委員 | 62ページの「エコ通勤」の定義を入れた方が良い。 |
| 事務局 | そのようにする。 |
| 委員 | 64, 65ページがわかりにくいため、事業の「概要」、「背景」、「至った理由」などに項目づけをして記載した方が良い。 |
| 事務局 | わかり易いように修正する。 |
| 委員 | 68ページ、事業9は具体的にはどのようなものか。 |
| 事務局 | イメージとしては、山口市などで実施されている、地域住民による乗合タクシーなどの仕組みづくりを想定している。地域の方で組織を作られて乗り合いタクシーを運行されているのだが、例えば、そのような地域でのデマンド交通や乗合タクシーをやりたいなどの要望があれば、市が出向き、ノウハウなどをサポートしていきたいと考えている。 |
| 委員 | それであれば、実施主体は「地域」ではなくて「地域住民」という方が良い。 |
| 事務局 | そのようにする。 |
| 委員 | 69ページのPDCAサイクルの図は、細かく事業ごとに目標と指標（何%UPなど）とデータを取る方法と、大切なのは、チェック体制（毎年なのか、5年に1回なのかなど）をどうするのかなど、サイクルの一覧表を記載すべきである。 今回の網計画と「地域公共交通総合連携計画」との違いである「まちづくり」と「観光」の事項は、新たに加わっているが、「観光」については、観光タクシーだけでなく、もっと具体的に観光振興について記載したほうが良い。 |
| 事務局 | そのようにする。 |
| 委員 | 59ページにおいて、鉄道の乗者数を維持するとしているが、今のまま、何も対策しなければ、どの程度の減少を見込んでの維持なのか。 |
| 事務局 | 29ページのグラフを見ていただくと年々減少傾向にある。具体的な5年後の数値は算出していないので、資料として推計値を算出しておきたい。 |
| 委員 | 62ページの公共交通利用者への補助件数が載っているが、具体的な金額ベースの補助額はわかるか。 |
| 事務局 | 小野田線の利用促進に伴う補助は、年間約10万円である。 |
| 委員 | 61ページで小野田駅、厚狭駅のバリアフリー化100%という目標が |

| | |
|-----|--|
| | あるが、エレベーターの整備をＪＲでされる予定はあるのか。 |
| 事務局 | 国のバリアフリー法で、平成３２年までに整備するようになってい るので、本市でもそれに伴い、現在ＪＲと協議をしているところである。 |
| 委員 | ６４ページの交通結節点や乗継拠点の整備において、乗り場の整備等 があげられているが、具体的な場所や事業主体の施設等の管理者はど のような方を想定しているのか。 |
| 事務局 | バスの乗降調査によりわかったが、今は、「サンパーク」での乗降が 多い。また、従来どおり、公園通り周辺の施設等を活用して交通結節 点にならないかとのイメージを持っている。具体的な施設としては、 サンパークになろうかと考えているので、ご意向を伺いながら整備を 行いたいというイメージを持っている。 |
| 委員 | 小野田駅の乗り場がわかりにくいとのことであるが、小野田駅は、玄 関口でもあるので、わかりやすいものが必要である。 鉄道とバスの共通乗車についてイメージはあるか。 |
| 事務局 | ＪＲ小野田線とバス事業者との協力が不可欠ではあるが、例え ば、ＪＲの定期券を持っている方が、バスに乗った場合に割引ができ ないかと考えている。 小野田線とバスの共存を図るための取組と考えている。 |
| 委員 | エコ通勤などは良いことかとは思いますが、どのようにするのか。 |
| 事務局 | 月に１回エコ通勤を推進するため、市役所でもノーマイカーデーを実 施しており、６月、１２月に市内一斉のノーマイカーデーもあるので、 市全体として取組ができたかと考えている。 |
| 委員 | ６３ページの実施年度は、今から入力ということによいか。 |
| 事務局 | そうです。次回までにお示ししたいと考えている。 |
| 委員 | 今後のスケジュールは、どう考えているか。 パブリックコメントや再編実施計画などの策定時期など、教えていた だきたい。 |
| 事務局 | 本日頂いた意見を反映して、来週もう一度協議会を開催したい。そこ で、本日の意見を調整させていただいたものを最終案として示し、そ の後、素案として了承いただきましたら、パブリックコメントを２月 下旬から３月下旬まで行い、３月下旬にもう一度協議会を開催し、策 定としたい。 |
| 委員 | 小野田線の南中川駅からサンパークに行かれる方が多いが、バスに乗 ろうとすると、中川に戻ってサンパークに行くことになるため、若い |

| | |
|-----|--|
| | 方は歩かれる。千代町バス停からでも、歩くと遠い。難しいとは思いますが、南中川とサンパークを結ぶバスがあれば良いと感じている。 |
| 会 長 | 貴重なご意見であり、バス停のこともあるが検討したい。 |
| 委 員 | 観光振興を図る面でも2次交通は、とても大切な部分であるので、具体的な取組については、事務局とも協議したい。 |
| 委 員 | 60ページで、市民1人当たりでの財政支出額の目標値が、現在の1割減ってとのことだが、1割減の根拠は何か。効率的な運行をして減らそうとういことか。 |
| 事務局 | 利用促進が大変難しい課題であるが、利用者を増やすこと、路線の再編により更に効率化を図ること、更には、モビリティーマネジメントや新たな利用者の発掘などを進めていくことで、効率的な運行を目指し、支出減に努めたい。 |
| 会 長 | 専門用語の記載については、市民の方に見て頂くという事をよく考えて、注釈等を記載するなどして、わかりやすいものとするようにしてください。 次回は2月12日（金）14：00から |